

委員の皆様から寄せられたご意見について

参考資料

ご意見	市の考え方
(1)手数料水準について	
① 市民への過度な負担とならず、減量効果も期待できる1ℓあたり1円の水準が良い。	・ 手数料の水準については、減量効果等を踏まえ、5年毎に検証します。市民に過度な負担とならないよう、業務の効率化を図るとともに、広告収入等の活用も行います。
② ごみの有料化には賛成であるが、ごみ袋製作は企業協賛（広告）などで賄い、負担を軽減すべき。	・ 民間企業が参画しやすい制度となるよう、ご意見などを聞きながら検討します。
③ 現状のごみ処理経費から、市民の必要な負担を明確にすべき。	・ ごみ処理に係る経費や手数料の用途等を明らかにし、透明性を確保することで、市民の理解を深めていきます。
(2)専用ごみ袋について	
① 10ℓ又はそれ未満の袋について	・ 意見交換会等やパブリック・コメントでも要望があった10ℓ未満の袋については、導入を検討します。
② 専用ごみ袋に入らないごみについて、縛り付けた際に盗まれる可能性があるのではないかと。	・ 盗難の事例が続くようであれば、袋の自由記載欄に、「マットレス」と記載する等、再利用がしにくい対策等を紹介していきます。 ・ 現在、本市においては「粗大ごみ」の区分がありませんが、将来的には、「粗大ごみ」区分や処理券（シール）の導入等、他の手法についても議論したいと考えています。
③ 袋に入らないごみについては、シール方式が合理的ではないかと。	
④ ごみ袋の素材は、環境や焼却施設に優しいものとしてほしい。	・ 素案で示しているように、環境に配慮した素材を用いる予定です。
⑤ スーパーやコンビニなど、どこでも買えるようにしてほしい。	・ スーパーやドラッグストア、ホームセンターを中心に購入できるよう考えています。コンビニでの取り扱いについては、企業の意向や市民のニーズ、費用対効果等を踏まえて検討します。
⑥ 燃やせるごみ・燃やせないごみの共通袋とせず、色を分けてはどうか。（分別の確実性と収集作業の安全性・効率性の観点から）	・ 製造コストの削減や使用頻度が少ないと考えられる「燃やせないごみ」の専用袋の購入による市民の負担増を軽減を図るため、また、販売店の陳列スペースの確保等の課題もあることから、現時点では、共通袋としたいと考えています。パブリック・コメントでは、同様のご意見は1件のみでしたが、導入後のごみステーションの状況等について検証し、引き続き、検討していきます。
(3)制度の周知について	
① 外国人への分かりやすい周知が必要。	・ 出前講座の開催や外国人用パンフレットの配布に加え、SNSを活用した情報発信や外国語対応のごみ出しアプリの導入を考えています。
② 富山は全国でもごみが多く、市民へごみが増えることによるデメリットをしっかりと伝えるべき。	・ 本市のごみ処理の現状や課題等について、市民に対し、分かりやすい周知に努めます。
③ 二重課税（負担）であるとの指摘もあり、丁寧な説明が必要である。	・ 引き続き、市民に対し、丁寧な説明に努めます。
(4)不適正排出、不法投棄への対応について	
① 専用ごみ袋を使用しないで排出された場合等の対応を明確にすべき。	・ 有料化後のごみ出しルールについて、丁寧な周知に努めます。また、集積場に設置する啓発・警告看板の配付や防犯カメラを活用し、不適正排出や不法投棄の抑止を図ります。
(5)手数料の用途について	
① 焼却施設も恒久的にあるわけではない。基金に積立て、将来への備えをすべきである。	・ 既存焼却施設の長寿命化工事や改築工事に向けて、必要な資金の一部について、富山市一般廃棄物処理施設整備基金に積み立てることで、将来世代の負担軽減に努めます。
② 用途を明確にする。	・ (1)③に同じ
③ 市民への啓発や資源化に向けた事業に充ててもらいたい。	・ 有料化によるごみの減量効果が最大化するように、市民への啓発や資源化に向けた事業にも、手数料の活用を考えています。
④ 「燃やすしかないごみ」への改称は、市民の意識の変化に繋がる。	・ 「燃やせるごみ」を「燃やすしかないごみ」に改称した市の考え方を、市民の皆さんにわかりやすく周知することで、ごみの減量効果を高めていきます。
⑤ ごみ集積場の設置補助の拡充についても検討してもらいたい。	・ ご意見を参考に、今後検討していきます。
⑥ 地域の美化活動などの予算としてほしい。	・ 素案で示しているように、地域の環境美化活動への支援等にも活用していきます。
⑦ 資源物の収集体制の更なる強化が必要。	・ ご意見を参考に、今後検討していきます。
⑧ 不燃物、資源物の抜き取りへの対策も強化してもらいたい。	・ (4)①に同じ

